



# 南高SSHだより

第13号  
H28.2.1  
新潟南高等学校  
SSH部発行

## SSC生物部員が日本生物学オリンピックで本選に出場しました

平成27年7月19日に日本生物学オリンピック2015の予選が、全国103会場で実施され、3,433名が参加しました。本校SSC生物部員で理数コース3年の生徒が、予選で全国上位80名に選ばれ、優秀賞を受賞し、本選に出場しました。本選は8月20日から23日までの3泊4日で、広島大学において実施されました。本選出場はとても貴重な体験ですので、体験した内容についてアンケートに答えてもらいました。

### 質問1 本選で体験した内容の概要を教えてください。

- ・1日目と2日目は試験があり、試験では自分で実際に実験を行いました。試験の前に実験器具の使い方を覚える予備体験を行った後で、試験に臨みました。
- ・3日目は施設・研究室見学があり、午前中に広島大学博物館や両生類研究所などの施設を見学し、午後は研究室へ行き、実験を通して最新の研究を学びました。

### 質問2 体験した内容の中で最も印象に残ったことは何ですか？

- ・2日目の植物学の試験です。この試験では、イネの根を薄くスライスし、その断面を観察して答える問題がありましたが、どうしても十分薄くすることができず、気付いたら残り時間15分になっていました。問題が解けない以前に問題にたどりつけないという、学校では感じたことのない焦りを感じました。

### 質問3 全国の高校生や中学生と交流して感じたことを教えてください。

- ・皆、一見すると普通なのですが、話題の中に生物の教科書には載っていないようなことに普通に通じている人たちがいて、本選のレベルの高さを感じました。

### 質問4 本選出場の体験があなたにどのような影響を与えましたか？

- ・本選のレベルの高さを見て、今のままでは大学に行ったときに通用しないと感じ、より真剣に勉強に取り組もうと思いました。

### 質問5 生物学オリンピックに向けた学習の進め方のポイントを教えてください。

- ・生物学オリンピックに必要なものは、「基礎力」と「考える力」です。生物学オリンピックの問題は、基本的に「考える力」を試す問題が多いですが、生物の基礎知識があることが前提となっているので、「基礎力」が不可欠です。特に、「植物の環境応答」「発生」「遺伝」は知識がないとまず解けないので、習っていない自分でも自分で取り組んだ方がいいと思います。教科書準拠の問題集（学校で使用しているもの）などで基礎を固め、問題に慣れるのがいいと思います。

### 質問6 新潟南高校の後輩たちにメッセージをお願いします。

- ・生物学オリンピックの問題はとても難しいですが、基礎ができていれば、あっさり解けるような問題も意外とあります。また、特別な勉強はほとんどいりませんし、「考える」問題を解くことは必ず受験に役に立つので、気軽に挑戦してみてください。

## 「国際科学技術コンテスト」に挑戦しませんか？

チャレンジの先に、なりたい自分がいる

国際科学技術コンテストは、全国の高校生みなさんに科学の面白さと楽しさを体験してもらうためのコンテストです。

同年代の仲間たちと競い合い、ふれあいながら、科学への興味や友情を深める。

自分の実力や適性を知り、これから進むべき方向を見定める。

成績に応じた大学受験の特典制度も充実し、進路への足がかりをつくるチャンスも。

将来につながるヒントを用意して、みなさんの参加を待っています。